

令和6年度福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会 議事録要旨

- 1 日 時 令和6年10月23日（水曜日）14時00分から15時15分まで
- 2 場 所 福岡県宗像総合庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者 委員18名中11名出席
事務局（宗像・遠賀保健福祉環境事務所）15名出席
傍聴者なし

4 議 事

(1) 部会報告

- ア 救急医療部会 令和6年8月20日開催
- イ 保健事業部会 令和6年8月22日開催
- ウ 精神保健福祉部会 令和6年8月2日開催

今年度開催した3部会について事務局から報告を行った。

【意見・質疑応答】

(意見) 資料を読ませていただき、保健所が、緻密に細かく、大変な仕事をされているということを改めて知ることができた。感謝申し上げます。

(意見) ポリクック（災害時にも役立つポリ袋を使った料理）の取組については、実際に自宅で家族と一緒に実践してもらえるような働きかけも行っていただきたい。

(質問) 他の地域に比べ本地域の自殺率が高いようだがなぜか。原因について考える場はあるのか。

(回答) 市町や県で分析を行っているが、自殺そのものが複数のリスク要因と関係していることもあり、自殺率が高い原因を特定するというのはなかなか難しいようだ。

保健所としては、ゲートキーパー研修の実施や自殺未遂者等のハイリスク者支援連携を強化等により自殺者の減少に繋げているところ。

(意見) 県医師会においても、一般科の医師と精神科医の連携、研修会の開催等様々な取組みを行っている。

(2) 主要事業

- ア 総務企画課
- イ 健康増進課
- ウ 保健衛生課

各課の主要事業について事務局から説明を行った。

【意見・質疑応答】

(質問) 「にも包括」とは何か。

(回答) 「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」のこと。共生社会に向けて、相談窓口、医療、住まい、障がい福祉・介護、社会参加、地域の助け合い、普及啓発等、様々な要素を絡めて、高齢者や子どもだけではなく、精神障がい者にも対応した包括ケアシステムを構築すること。

(意見) 精神障がいの方々と関わる仕事をしているが、精神障がいの方は地域なくしては暮らしていけない。皆様に「にも包括」とは何かを知っていただけるだけでも大変うれしく感じる。

(3) その他

【意見・質疑応答】

(質問) PFAS による水道水や井戸水の汚染について、調査する予定や計画があるのかお尋ねしたい。

(回答) 水道事業の所管は市町であり、県庁への報告は市町から直接なされることとなっているため、保健所では把握していない。井戸については、基本的に所有者が管理することとなっている。ご心配な場合は、有料とはなるが、民間の検査機関で検査していただくこととなる。なお、PFAS はまだ基準が決まっておらず、今後、国で水道における基準等が検討されると聞いている。

(質問) 本会議の事務局を見たところ女性管理職が非常に多いようだが、福岡県の女性管理職の割合はどのくらいか。

(回答) 手元に資料を持ち合わせていないため即答はできない。なお、当所については、職種の関係もあって特に女性が多いかもしれない。